

令和7年度 学校関係者評価

(1) 骨太の人間力と進路実現のための学力の育成について(評点平均 3.4 ※満点は4)

- ア 生徒の学力向上に向け、難関校合格者数の増加を目標に、先生方が教育改善に不断の努力を続けておられる点に深い感銘を受けた。また、生徒の主体性が着実に育っている現状も大変すばらしいと感じている。生徒が延高での学びを通じて粘り強さを身に付け、より高いレベルで進路実現を果たした事例が蓄積されていくことで、将来的には一層意欲の高い生徒が自然と集まる学校へと発展されるものと期待している。
- イ 授業を参観し、生徒から活発に意見や考えを伝えている様子が見られてとても良かったと感じた。活字離れが懸念されている中で、読書活動を実施されていることはとても良いことだと感じた。長文読解力の鍛錬は学力向上にもつながると私は思っているので、継続してほしいと思う。
- ウ 新しい取組みを様々実施していることは評価。しかし、それが生徒のニーズや進路実現に本当に寄与しているのかは評価書を見る限りは不明であったので、次年度以降はそのあたりの改善を期待したい。
- エ 外部機関との協働による生徒の学びが充実していると思う。さらなる発展を目指してほしい。
- オ 不登校生の数、進路変更(退学・転学)の生徒の数が少ないという点は評価できる。今後も、一人ひとりの生徒を理解し、それぞれに適した指導をお願いしたい。
- カ 今年度は子どもが受験生であったこともあり、先生方の進路実現のための実践に改めて感動した。二者・三者面談などを通して生徒やその家庭と真摯に向き合う姿勢には好感が持てた。
- キ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業公開を通じ、全教職員が一体となって授業改善に励まれている様子が伝わってきた。学校運営協議委員が感想や助言を直接述べる場が設けられるなど、外部の視点を取り入れようとする柔軟な姿勢も見られた。朝の読書活動や図書館利用の工夫により、生徒が落ち着いて自分と向き合う時間が確保されており、「骨太な人間力」の土台作りが着実に進んでいると感じる。今後は、生徒の学力伸長度をさらに分析し、個々の進路希望の実現に向けた支援の継続を期待する。
- ク 骨太な人間力の育成に関しては、最近学校に行くと、生徒の皆さんにこちらから挨拶をすることが増えたように感じており、少し寂しく思う(気付いていないのかもしれない)。学力に関しては、県内や全国のいわゆる難関校にも肩を並べるようになってほしいと期待している。
- ケ 本人・友達ともに進路実現のために努力している人が多い。担任や学年の先生、教科の先生に学習の助言、細やかな進路指導をしてもらっている。また、読書の時間が確保されているので、自分に必要な読書を模索するようになった。
- コ 人権講演会ではネット社会における人権侵害の危険性を知り、他人の立場を想像する力や思いやりをなど、人間力の核となることを学んだと思う。また、SSHとしての取り組みである、研究や発表を通して、自分で考える力、伝える力、粘り強さを育て、骨太な思考力、ひいては骨太な人間力を育てるものである。また SSH の研究経

験により思考力が身に付き、応用問題に強くなるのではないかと思います。

サ 学校参観において各学年の授業の様子を見た中、グループワークも取り入れ各グループで議論し、自分の考えを主張できる能力が養われており、自立した人間育成につながるものと感じた。

(2) SSH 研究開発による科学技術人材の育成について(評点平均 3.6)

ア A-time の活用など、仕組みづくりによって先生方の時間的ゆとりが生まれている点は、教育の持続可能性の観点からも大変意義深いと感じた。また、延高 SSH 関係者の一体感が高まってきていることも印象的である。さらに、延高 SSH の人材育成への取り組みが全国的にも高く評価されたことは、大きな励みになるものと思う。関係者の皆様が誇りを持って今後も協力しつつ取り組みを進められることを期待している。

イ PLIJ STEAM・探求グランプリでグランプリを受賞したことは、生徒はもとより先生方をはじめ関係者にとって、とても喜ばしく今後の励みにもなる名誉なことだと思う。このことを広くアピールして延岡高校の魅力を高め、多くの方に関心を持ってもらえることで、生徒の募集にもつながるのでは考える。

ウ SSH II 期の採択や学びのプラットフォームで表彰されたことは期待以上のものとしてよいと感じた。今後は SSH により貴学の生徒が県内外で活躍及び同世代から尊敬されるような人材に育つことを望む。

エ 「学びのプラットフォームSTEAM探究グランプリ」受賞おめでとうございます。これまでの取組が認められ、大変喜ばしいことである。生徒も先生方も自信になったことだと思う。今後もレベルアップを目指してほしい。

オ SSH II 期の指定、更に PLIJ STEAM 探求グランプリ受賞と今年度はこれまでの取り組みが評価された 1 年であったと思う。延高の SSH 研究開発の取り組みを積極的に発信して、今まで以上多くの方に知ってほしい。

カ 「のべたかた SALK」や全国規模のコンテストで結果を出すための指導体制が機能していると思います。特に、地域課題の解決を教育課程に組み込み、外部機関と連携する体制を構築した学校経営は他校の模範となりうると思いました。外部機関と連携する体制づくりのなかに、コミュニティ・スクールを効果的に位置づけることも次年度から必要になってくるのではないのでしょうか。

キ PLIJ STEAM・探求グランプリの最高賞受賞で、対外的にも高い評価を受けていると思います。今後の活動がより充実していくことを期待します。

ク 今年度も多くの場面で SSH での学びを評価され、生徒にも探究の力は付いていると思う。ただ、保護者には何をしているか伝わらない面もあるので、内容や成果を知る機会があるといいと思う。

ケ 仮説を立て、実験、調査、データ分析、発表という研究のプロセスの経験により、理系の基礎体力が育ち、進学後も生かされると思う。また、課題研究ポスターセッション

では外部の専門家や企業との連携を持つことで、将来の進路のイメージが具現化したと思う。PLIJSTEAM・探求グランプリの受賞は本校の教育の方向性が間違っていない証拠であり、生徒達の主体的な活動の積み重ねと成果が評価されたと思う。その点からも、科学技術人材の育成につながっていると考えられる。

コ SSH 研究開発Ⅱ期の指定を受け、中核企業との共同プロジェクトを開始したことは一定の評価ができる。新たな取り組みということで先生方の指導力も問われると思うが、生徒たちの将来に役立つような取り組みを実践してほしい。

(3) 家庭・地域等との連携による信頼される学校づくりについて(評点平均 3.0)

ア 先生方が誠意をもって指導にあたり、積極的な情報発信に努めておられることから、家庭や地域においても延高への信頼が高まっているように感じます。こうした相互信頼があるからこそ、保護者の皆様も PTA 活動や学校行事、通学時の見守りなどの依頼に積極的に協力されるものと推察いたします。

イ 周囲の小中学校との交流をされているとのことで、地域の小中学生やその保護者が、延岡高校に関心を持ち、入学したいと思っている生徒もいるのではと思います。生徒の学習環境を整えるには、保護者の協力も大事だと思いますので、地域との交流も続けながら保護者との良好な関係を築いていければと感じました。

ウ 生徒主体でオープンスクールを実施するなど企画については創意工夫をこらしたことがうかがえる。ただ、家庭・地域との連携に関しては達成手段にたいして、もう少しトライしていく部分があってもいいのではないかと感じた。

エ 地域に愛される延高。応援したくなる延高。そんな延高になってほしいと思っています。学力向上はもちろん重要です。小学校運動会準備等への協力など、今後も延高生の姿が見える地域貢献も忘れずに取り組んでほしいと思います。

オ 「家庭・地域・小中学校等に対する、本校の魅力(生徒の輝く姿)の積極的な発信」とあります。発信はされているのですが、「魅力」が届いていません。令和8年度入学生用の学校案内(パンフレット)に、延岡高校の近隣中学校卒業生を多く取り上げています。「地域との連携を目指して」いる学校であることを感じる事ができました。

カ 延高は保護者の PTA 活動に対する参加率が伝統的に高いと感じています。保護者の協力体制を今後も維持して、子どもたちの学校生活を支えていければと思います。ヘルメット着用校則化は、実験的な試みでもあったと思いますが、結果的に良い成果が得られたと感じています。

キ コミュニティ・スクール導入の初年度において、高い PTA 総会出席率を維持しつつ、SNS やホームページを通じた積極的な情報発信に注力されたことで、「開かれた学校」としての信頼と魅力が一段と向上しました。また、自転車ヘルメットの着用推進において、生徒・保護者・学校が協力して「命を守る」取組を実践したことは、地域からの信頼に直結する活動だと思えます。

- ク 「延高生」の評判は耳にする限り非常に高く、少なくとも地域住民の皆さんには信頼されているように思います。一方、通学マナー等での苦情等がなくなるという事ですので、保護者の送迎含め、やはり対応が必須ではないかと考えます。
- ケ 自転車ヘルメット着用を校則としたことは、保護者とも連携した大きな取組だった。保護者から要望があった厳冬期のエアコン使用をできる範囲で実施してくれて感謝している。
- コ PTA 総会の出席率の高さや、学校行事でのサポートを積極的に行う保護者も多く、各家庭と学校との連携や信頼関係がしっかり築けている。またヘルメット着用率の高さも、各家庭の理解の高さの現れではないだろうか。ヘルメット着用100%で登下校している姿は、地域住民にとっても強いメッセージを与えられ考えられる。ルールを守れる生徒、自己管理ができる生徒という、地域にとって信頼できる学校という印象を与えていると思う。
- サ 文化祭、体育祭等学校行事に対して、保護者、地域の皆様の協力のもと開催できたことは地域ぐるみの取り組み実践として大いに評価できる。一方、地域一体となった学校づくりを目指している中、県内の志願者数が公表されたが、かなり厳しい状況であった。これは、地域（小中学生を持つ家庭）から敬遠されている何らかの要因があると思うので、今後の課題であろう。

(4) MS科の進化と普通科のさらなる充実について(評点平均 2.8)

- ア サイエンス部の部員増加や活動の充実は、将来に向けての発展を象徴する非常に良い兆候であると感じております。今後、特にMS科の生徒には、探究活動と同様に「課題の発見・分析」「課題解決に向けた思考力」をより高いレベルで身につけていくことを期待しております。また、MS科・普通科を問わず、新しい学習の場面において思考停止して丸暗記に陥ることなく、物事の本質を理解し、要点を整理して表現できる力がさらに伸びていくことを願っております。
- イ メディカル・サイエンス科は、医学部をはじめとする難関大学等へ合格者を輩出することが目標であり、生徒や保護者も期待していると思います。そのために、先生方は様々な工夫を重ね、生徒の学力向上を目指していることに感謝申し上げます。
- ウ 成績や挑戦する人材の育成、プログラムの開発といった点において、あまり充実していない印象。授業は工夫されているとのことなので、どういった工夫でどのように生徒に影響があるのかを可視化していただけると有り難い。時間がかかるかと思うが、より尖った人材の育成にて各生徒のベンチマークとなるような人材が1人でもでてくるといいなと思う。
- エ 生徒がMS科の魅力を発信する取組は素晴らしいと思います。今後も魅力あるMS科の取組を期待します。
- オ メディカル・サイエンス科は、「医歯薬系や難関大学への進学を志望する生徒に特に適した学科」となっています。本年度の卒業生の進学実績はまだ出ていませんが、令和8年度入試で医学部医学科志望の生徒がいなかったことや、令和6・7年度入試の合格実績から判断すると、「医学部を含む難関大学等に合格できる学力の育成」には、さらなる取組が必要だと考えます。

カ 県北はもちろんのこと、県内の中学生及びその保護者から選ばれる進学校として今後もブラッシュアップを続けていただきたいです。

キ MS 科が掲げる難関大学進学という高い目標の実現に向け、生徒の可能性を最大限に引き出すための、先生方による粘り強い指導とさらなる創意工夫の継続を期待します。オープンクールに参加できませんでしたが、生徒自身が学科の魅力を語る姿は、普通科も含めた学校全体の活性化につながると思っていますので、次年度も継続していただきたいです。伝統を守りつつも時代の変化に対応しようとする「進化」の姿勢が感じられる 1 年間となったのではないのでしょうか。

ク 延高の MS 科、普通科でしかできないカリキュラムを充実し、現在進めているものも含め、その内容を対外的（特に中学生の受験生や保護者）にポジティブ PR が出来るといいかと思えます。

ケ 我が子は、MS 科の病院実習や医師の講話等の影響を受け、医療の道に進む目標を持った。MS 科・普通科での精選された体験やキャリア教育は今後も継続してほしい。

コ 医療機関での研修など、医学部や医療系の学部を目指す生徒の為の取り組みなどは良いと思う。また、卒業生の講演なども、生徒達の心に響く取り組みだと思う。今後も卒業生とのネットワークを活用できる環境などが充実すると良いのではないだろうか。

サ 志願状況が芳しくない。MS 科のイメージが睡眠時間が削られるほど勉強が大変だと思われる。医学部をはじめ難関大学に合格できるための学習ということで仕方ないと思う部分もあるが、その割には今年の卒業後の進路実績を見ると成績には反映されていないように感じる。